

動脈硬化の早期発見に有用な血管内皮機能検査を開始しました



より良い医療を
地域のみなさんに

社会医療法人
岡村一心堂病院

岡山市東区西大寺南 2-1-7

Tel 086-942-9900

URL : <http://www.isshin.or.jp/>

E-mail : info@isshin.or.jp

動脈硬化の早期発見に有用な血管内皮機能検査を開始しました

生体検査室

近年、食生活や生活環境の変化によって高血圧、糖尿病、脂質異常症と言った「生活習慣病」の方が急増しています。生活習慣病は動脈硬化と密接な関係にあり、最近の研究で動脈硬化は、血管内皮細胞の機能障害から始まり、徐々に進行していくことが分かってきました。血管内皮細胞の機能障害の程度を知り、生活改善によって動脈硬化を進行させないこと、つまり血管を大切にすることがこれからの長寿社会で健康にいられる重要なポイントとなります。

●血管内皮機能検査とは・・・

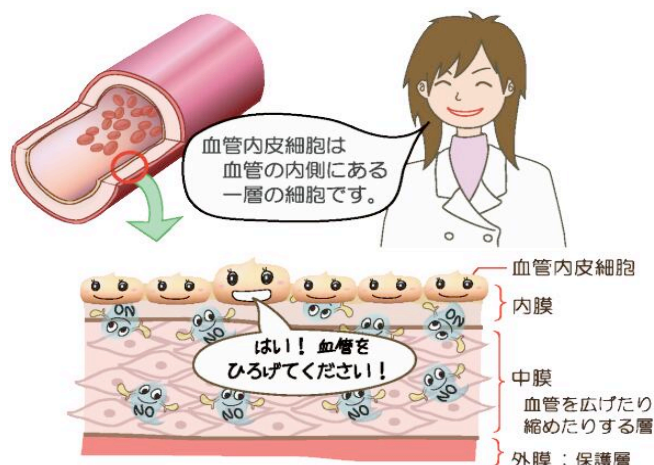
血管依存性血管拡張反応検査（FMD検査）ともいい、5分間駆血帯で腕をしめ、しめる前としめた後で血管径の変化を超音波で調べる検査です。しめた後血流が再開されると、血流の刺激により血管内皮細胞が一酸化窒素（NO）を放出し、そのNOによって血管が拡張します。この血管の拡張の度合いにより血管内皮機能が分かります。%FMD値すなわち血管拡張率が高いほど、血管内皮機能がよく、健康でイキイキとした血管と言えます。%FMD値6%以上が正常です。



検査手順

検査時間：20分程度

- 1、安静時の血管径をエコー画像から計測します
 - 2、5分間駆血します
 - 3、駆血後、血管径を計測します
- 1、3の血管径を比較し、血管拡張率（%FMD）を出します
※検査前8-12時間は食事や喫煙は控えて下さい。また、検査中は身体を動かしたりしないよう注意して下さい。



●血管内皮とは・・・

血管内皮とは、血管の最も内側にある一層の細胞のことで、一酸化窒素などを放出し血管の収縮・拡張などに大きく関与しています。血管内皮細胞の機能が低下すると、一酸化窒素の産生が減り、血管が拡張しにくくなります。動脈硬化は血管内皮機能が低下することから始まるため、血管内皮機能検査は動脈硬化が引き起こす様々な疾患に対する早期発見・早期治療に有用です。